

人間科学部 人間科学科

2018年度入学生カリキュラム

<目次>

◆ディプロマ・ポリシー (DP)/カリキュラム・ポリシー (CP)

学位授与の基本的な考え方として、卒業までに修得すべき専門知識や能力、到達目標を示したもの (DP)。各学科におけるDPを到達するためのカリキュラム編成を示した基本的な考え方 (CP)。

◆カリキュラムマップ

武蔵野BASIS (全学共通基礎課程) および学科の科目を科目のレベルや学問分野ごとに体系化した図。

◆卒業所要単位表

学修の手引きに記載している「卒業の要件」のひとつである、卒業までに必要となる科目や単位について一覧化した表。

必修科目や指定された科目群の単位を1単位でも未修得の場合卒業要件に抵触することとなる。

※進級基準科目 (進級するために単位の修得が必要な科目) についてもあわせて確認すること。

◆開講表 [武蔵野BASIS]

武蔵野BASIS (全学共通基礎課程) の開講科目一覧。

履修条件欄や備考欄に履修における注意事項が記載されている場合があるので、必ず確認すること。

なお、科目の内容や履修条件の詳細については、シラバスを確認すること。

※開講科目の名称は課程年度 (入学年度) により変更となる場合があるため、科目の名称変更と対応関係については最新の開講表を確認すること。

◆開講表 [学科科目]

学科科目の開講科目一覧。

履修条件欄や備考欄に履修における注意事項が記載されている場合があるので、必ず確認すること。

なお、科目の内容や履修条件の詳細については、シラバスを確認すること。

※開講科目の名称は課程年度 (入学年度) により変更となる場合があるため、科目の名称変更と対応関係については最新の開講表を確認すること。

◆履修モデル

将来の進路や目的に沿って、学科が推奨する学びの分野に応じた代表的な履修例。

卒業の要件を満たせることを保証をするものではないため、履修計画を立てる際には必ず開講表や

卒業所要単位表、学修の手引きを確認すること。

◆成果に基づく単位認定

「留学の認定科目」「資格試験の合格による認定科目」「ボランティア活動による認定科目」の一覧。

≪付録：卒業所要単位表・開講表の見方≫

人間科学科 カリキュラムポリシー

【1年次】

武蔵野BASIS、セルフディベロップメント、キャリア開発の各プログラムに基づいた全学共通科目から、学士力の基礎を修得します。また、学科基礎科目である「人間学入門」「人間科学基礎」などを通じ、これから学ぶ人間科学の各分野の専門能力の基礎を修得します。

【2・3年次】

専門科目として、人間学基幹科目群、臨床心理科目群、産業・社会科目群、生命・健康科学科目群、精神保健福祉科目群などの中から、学生自身が考える将来の進路を勘案しながら必要な諸科目を履修します。各科目群では基礎的な科目を1・2年次に配当し、より専門的・応用的な科目を3・4年次に配当します。これらの科目の履修をもって、使命感や論理的思考力を、情報分析力や自己認識力、他者理解力を修得します。

また、2年に始まる「基礎ゼミ1」では、それぞれの学習への関心をもとに専門能力を発展的に身につけるためのゼミを選択します。各ゼミにおいては、4年次から始まる卒業研究、あるいは精神保健福祉援助実習のための準備を行い、プレゼンテーション力や傾聴力を獲得します。

【4年次】

4年次には学部における学習の集大成として学生全員がゼミ担当教員指導の下に卒業研究、あるいは精神保健福祉援助実習を行い、責任ある職業人・社会人として必要な、専門的かつ実践的な力を修得します。具体的には、文章力、創造的思考、チームワーク力を獲得します。

知識・専門性 : 学びの基礎力を基盤とした専門能力

自ら教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる【教養・基礎学力】

人間の心理・生命・社会行動などの専門知識に依拠した、総合的な人間理解力を修得している。【専門能力】

本格的な専門教育を受ける前に、全学共通の教養教育プログラムである「武蔵野BASIS」を履修します。「武蔵野BASIS」では、大学での学修に必要な基盤的な技法と知識の修得を目的として、「建学」、「健康体育」、「コンピュータ」、「日本語リテラシー」および「外国語」を学びます。また、同プログラムの「基礎セルフディベロップメント」において、「思想・芸術」、「国際・地域」、「社会・制度」、「人間・環境」、「物質・生命」、「数理・情報」の6分野を学ぶことにより、広い視野を備えたすぐれた人格の形成を目指します。

総合的な人間理解力を修得するために、「人間科学基礎」「社会学」「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」「生命科学1」「人間論基礎」などの必修科目をはじめとして、人間科学に関する基礎的な知識を身につける。また、「心理学実験1・2」「生命科学実験演習1・2」「社会調査実習」などの実践的科目を通じて、より応用的なスキルについても修得する。さらに、「人間論演習」「卒業論文演習1・2」「精神保健福祉援助実習」などの3年4年ゼミを通じ、専門的な知識と実践能力を獲得する。

関心・態度・人格 : 他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

自己と他者への深い洞察にもとづいて、社会において様々な人々と円滑な関係を築くことができる。【自己認識力・他者理解力】

人間が直面する様々な問題について自ら積極的に考え、継続してその解決に取り組むことができる。【主体性・実行力】

人間社会のストレスの問題について理解し、自己の心理的問題について対処することができる【ストレスコントロール力】

哲学・倫理学の知識にもとづき、仏教精神にもとづく人間尊重の倫理・道徳観を身につけている。【人格形成・使命感】

自己認識力・他者理解力の獲得のため、2年次必修の「人間論基礎」において、哲学的な問題提起や論証の基礎を学ぶ。更に、「東洋思想論1・2」「西洋思想論1・2」などの科目において、様々な思想的観点を学ぶことで、既存の概念的枠組みとその発展的理解ができるようになる。また、「心理学統計法」「心理的アセスメント」などの心理学科目により、自己と他者の客観的理解ができるようになる。さらに、「対人コミュニケーション論」「対人行動論1・2」などの科目から、自己認識力や他者理解力を獲得する。

また、現代社会におけるストレスに対応するため、「臨床心理学概論」「メンタルヘルス論Ⅰ・Ⅱ」「心身医学」「精神分析学」「健康・医療心理学」「健康科学」などの科目から心身の健康に関する問題の理解を深め、自己の健康増進に関わるストレスコントロール力を身につける。さらに、「感情・人格心理学」「生命倫理学」「環境倫理学」「仏教ホスピスビハラ論」などの科目から人間尊重の倫理や道徳観を修得する。

思考・判断 : 課題を多角的に捉え、創造的に考える力

情報を適切に収集・分析し、かつ建設的な議論を踏まえ、課題解決に向けて科学的・論理的に考えることができる。【情報分析力・論理的思考力】

自ら設定した課題について、心理学・社会学・生命科学の立場から多角的な理解と提案ができる。【創造的思考力】

「心理学研究法」「心理学実験1・2」「脳と心1・2」「社会調査法」などの科目から、人間の理解に関する客観的視点と方法論を修得する。また、「人間論基礎」「東洋思想論1・2」「西洋思想論1・2」などの科目において、哲学的、倫理的な「論証」を修得し、他者の見解を理解し、また自分の見解を明確に言葉で述べるようになることとともに、種々な見解の合理性を批判的に検討できるようになる。

これらの専門領域についての理解と実践的スキルを育成するために、「人間論演習」や「卒業論文演習1・2」「精神保健福祉援助実習」などのゼミナールにおいて、各教員の専門性に基づき、卒業論文の執筆と完成または精神保健福祉援助実習に取り組む。これらを通じて、人間科学の総合的理解と実証的・批判的思考を修得するとともに、課題解決を進める応用力を養成し、創造的思考力を身につける。

実践的スキル・表現:多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

心理学の知識と実践力に基づく共感的なコミュニケーションを通して、様々な人々と相互理解を深めることができる。【コミュニケーション力】

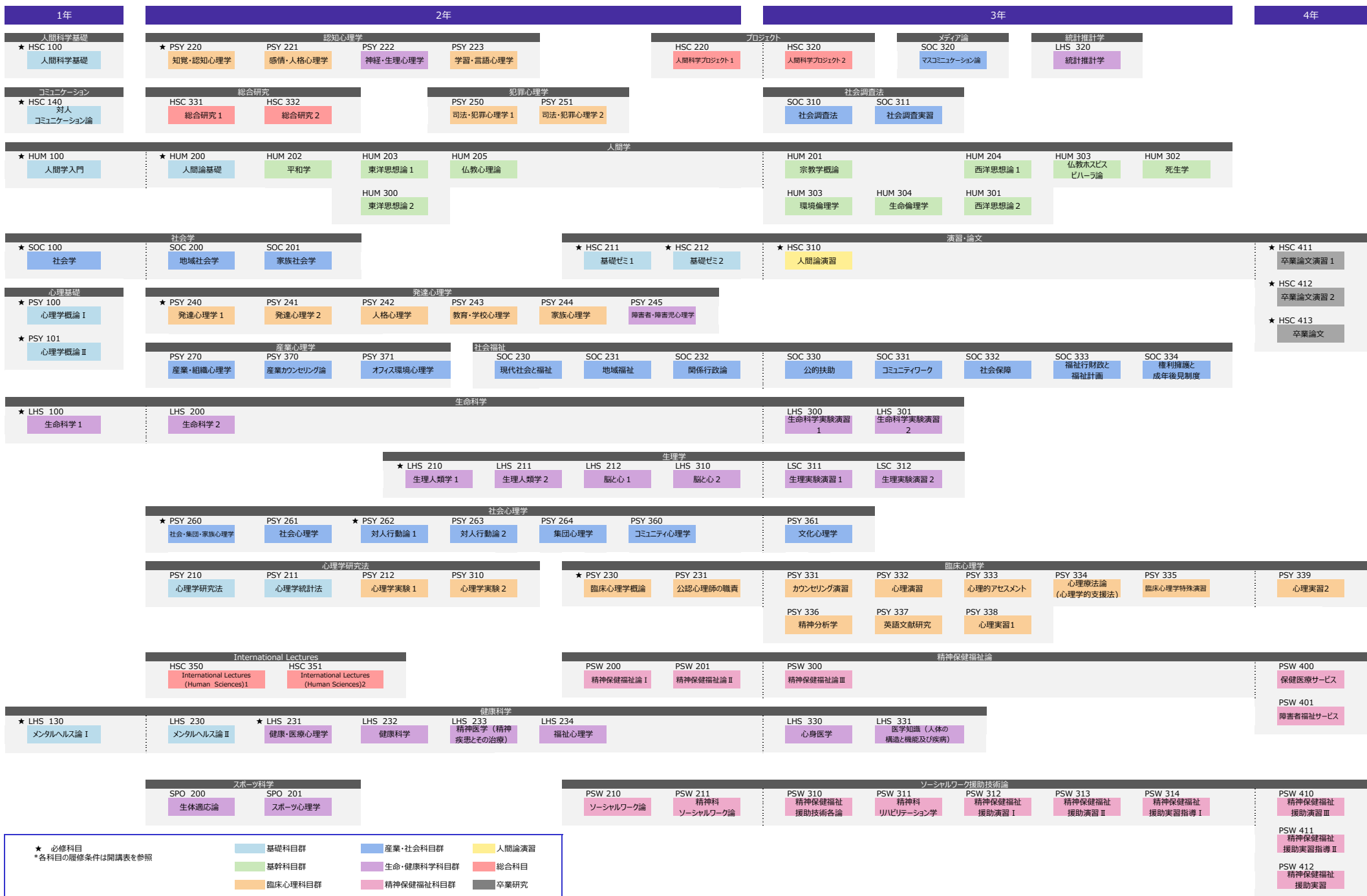
自らの考えを、読み手の立場に立った明確かつ論理的な文章にまとめ、分かりやすい発表をおこなうことができる。【表現力】

聞き手の立場に立った、分かりやすい発表ができる。【プレゼンテーション力】

人間に対する深い理解にもとづき、他者と協力しながら課題に取り組むことができる。【傾聴力・チームワーク力】

「社会・集団・家族心理学」「社会心理学」「対人コミュニケーション論」「臨床心理学概論」「メンタルヘルス論Ⅰ・Ⅱ」「感情・人格心理学」などの科目から、対人関係、社会や環境における人間の心理のメカニズムについて理解できるようになる。また、「カウンセリング演習」「心理演習」「臨床心理学特殊演習」などの応用科目において、傾聴力やコミュニケーション力の発展的スキルの獲得も目指す。

「基礎ゼミ1・2」「人間論演習」「卒業論文演習1・2」「精神保健福祉援助実習」などのゼミナールにおいては、心理学、社会学、生命科学、哲学などの専門領域についての課題のとりまとめや発表を行う。最終的に、卒業論文や精神保健福祉援助実習などの成果発表により、社会で活躍する際に必要な、文章力とプレゼンテーション力の養成を図る。各学年におけるゼミナールだけでなく、「心理学実験1・2」や「人間科学プロジェクト1・2」「心理的アセスメント」などの科目は個人のみでなくグループにより課題の実践ととりまとめを行う。これにより、傾聴力やチームワーク力を身につけることができる。



★ 必修科目
 *各科目の履修条件は開講表を参照

■ 基礎科目群
 ■ 産業・社会科目群
 ■ 人間論演習
■ 基幹科目群
 ■ 生命・健康科学科目群
 ■ 総合科目
■ 臨床心理科目群
 ■ 精神保健福祉科目群
 ■ 卒業研究

人間科学部 人間科学科 -2018年度入学生-

卒業所要単位数

2019年度版

★進級基準科目

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS (26)	必修 (14)	【建学科目】 仏教概説 [4単位]	4
		【健康体育科目】 人生の歩き方を考える (キャリアデザイン) [1単位]	1
		【情報科目】 コンピュータ基礎1 [1単位] ★	1
		【日本語リテラシー】 日本語リテラシー [1単位] ★	1
		【基礎セルフディベロップメント】 基礎セルフディベロップメント [6単位] ★	6
			【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】 フィールド・スタディーズ [1単位]
選択必修 (12)		【外国語】 <1年次> 1外国語1A～1D [計4単位]★ <2年次> 1外国語2A～2D [計4単位]	8
		【発展セルフディベロップメント】 <2～4年次> 発展セルフディベロップメント [2科目4単位選択]	4
学科科目 (86)	必修 (40)	人間学入門 [2単位] 人間科学基礎 [2単位] 人間論基礎 [2単位] 基礎ゼミ1 [1単位] 基礎ゼミ2 [1単位] 心理学概論Ⅰ [2単位] 心理学概論Ⅱ [2単位] メンタルヘルス論Ⅰ [2単位] 対人コミュニケーション論 [2単位] 知覚・認知心理学 [2単位] 臨床心理学概論 [2単位] 発達心理学Ⅰ [2単位] 社会学 [2単位] 社会・集団・家族心理学 [2単位] 対人行動論Ⅰ [2単位] 生命科学Ⅰ [2単位] 生理人類学Ⅰ [2単位] 健康・医療心理学 [2単位] 人間論演習 [2単位] 卒業論文 [2単位] 卒業論文演習Ⅰ [1単位] 卒業論文演習Ⅱ [1単位]	40
	選択必修 (8)	【人間学基幹科目群】の中から8単位選択必修	8
	選 択 (38)	学科科目の中から上記所要単位以外の科目を選択 (8単位を超えて修得した学科科目 (選択必修) の単位を含む)	38
自由選択科目 (12)		以下の科目から12単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS (所要26単位を超えて修得した単位) ②学科科目 (所要86単位を超えて修得した単位) ③資格取得科目 (司書課程の科目) ④武蔵野地域5 大学単位互換制度による認定科目 ⑤他学部・他学科履修許可科目 ⑥日本事情に関する科目 ⑦成果に基づく認定科目 (「海外語学研修1～4」「資格認定Ⅰ～Ⅶ」「ボランティア活動1～5」等)	12
合 計			124

※ 進級基準科目 (★) が不合格となった場合、進級要件に抵触し、次の学年に進級することができません。

※ 開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。

※ 履修計画を立てる際には、必ず「学修の手引き」を参照してください。

※ 履修要覧は毎年更新していますので、必ず最新の年度の履修要覧を確認してください。

人間科学部 人間科学科 -2018年度入学生-

開講表 [BASIS科目]

2019年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【建学科目】						
BDS 101	仏教概説	1年	4			
BDS 111	共生社会	1年		2		
BDS 201	しあわせを考える	2年		2		
【健康体育科目】						
HPE 101	健康体育1	1年		1		
HPE 201	健康体育2	2年		1		
HPE 211	オリンピック・パラリンピック文化論	2年		2		
HPE 112	人生の歩き方を考える (キャリアデザイン)	1年	1			
【情報科目】						
CLT 101	コンピュータ基礎1	1年	1			進級基準科目
CLT 102	コンピュータ基礎2	1年		1		
CLT 211	情報分析力1	2年		1		
CLT 212	情報分析力2	2年		1		
CLT 221	情報表現力1	2年		1		
CLT 222	情報表現力2	2年		1		
【外国語 英語】						
ENG 101	英語1 A	1年		1	【第一外国語 (選択必修科目) として履修する場合】 ①英語・中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語のいずれかの言語のうち、1A~2D計8単位を選択必修 ②1A~1D計4単位は進級基準科目	
ENG 102	英語1 B	1年		1		
ENG 103	英語1 C	1年		1		
ENG 104	英語1 D	1年		1		
ENG 201	英語2 A	2年		1		
ENG 202	英語2 B	2年		1		
ENG 203	英語2 C	2年		1		
ENG 204	英語2 D	2年		1		
ENG 301	英語3 A	3年		1		
ENG 302	英語3 B	3年		1		
【外国語 初修】						
CHN 101	中国語 1 A	1年		1	◆通年の履修が必須。(1A+1Cのセットで履修、1B+1Dのセットで履修、または1A~1Dの全てを履修の3パターンのいずれか) ◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする国に1年以上の滞在経験がある者は履修不可	
CHN 102	中国語 1 B	1年		1		
CHN 103	中国語 1 C	1年		1		
CHN 104	中国語 1 D	1年		1		
CHN 201	中国語 2 A	2年		1	③中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語2A・2Bにおいて ※第二外国語クラスは2Cおよび2Dの開講はありません。 ◆通年の履修が必須。(2A+2Bのセットで履修) ◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする国に2年以上の滞在経験がある者は履修不可	
CHN 202	中国語 2 B	2年		1		
CHN 203	中国語 2 C	2年		1		
CHN 204	中国語 2 D	2年		1		
CHN 301	中国語 3 A	3年		1	④中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語3A・3Bにおいて ◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする国に3年以上の滞在経験がある者は履修不可	
CHN 302	中国語 3 B	3年		1		
FRA 101	フランス語 1 A	1年		1		
FRA 102	フランス語 1 B	1年		1		
FRA 103	フランス語 1 C	1年		1		
FRA 104	フランス語 1 D	1年		1		
FRA 201	フランス語 2 A	2年		1		
FRA 202	フランス語 2 B	2年		1		
FRA 203	フランス語 2 C	2年		1		
FRA 204	フランス語 2 D	2年		1		
FRA 301	フランス語 3 A	3年		1		
FRA 302	フランス語 3 B	3年		1		
GER 101	ドイツ語 1 A	1年		1		
GER 102	ドイツ語 1 B	1年		1		
GER 103	ドイツ語 1 C	1年		1		
GER 104	ドイツ語 1 D	1年		1		
GER 201	ドイツ語 2 A	2年		1		
GER 202	ドイツ語 2 B	2年		1		
GER 203	ドイツ語 2 C	2年		1		
GER 204	ドイツ語 2 D	2年		1		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
GER 301	ドイツ語 3 A	3年		1		
GER 302	ドイツ語 3 B	3年		1		
SPA 101	スペイン語 1 A	1年		1		
SPA 102	スペイン語 1 B	1年		1		
SPA 103	スペイン語 1 C	1年		1		
SPA 104	スペイン語 1 D	1年		1		
SPA 201	スペイン語 2 A	2年		1		
SPA 202	スペイン語 2 B	2年		1		
SPA 203	スペイン語 2 C	2年		1		
SPA 204	スペイン語 2 D	2年		1		
SPA 301	スペイン語 3 A	3年		1		
SPA 302	スペイン語 3 B	3年		1		
KOR 101	韓国語 1 A	1年		1		
KOR 102	韓国語 1 B	1年		1		
KOR 103	韓国語 1 C	1年		1		
KOR 104	韓国語 1 D	1年		1		
KOR 201	韓国語 2 A	2年		1		
KOR 202	韓国語 2 B	2年		1		
KOR 203	韓国語 2 C	2年		1		
KOR 204	韓国語 2 D	2年		1		
KOR 301	韓国語 3 A	3年		1		
KOR 302	韓国語 3 B	3年		1		
【外国語 応用】						
AL 301	English for Studying Abroad 1	1・2年		1		
AL 302	English for Studying Abroad 2	1・2年		1		
AL 311	International Lectures 1	1・2・3・4年		1		
AL 312	International Lectures 2	1・2・3・4年		1		
AL 101	英語資格・検定試験対策A	1年		1		
AL 102	英語資格・検定試験対策B	1年		1		
【日本語リテラシー】						
JL 101	日本語リテラシー	1年	1			進級基準科目
【セルフディベロップメント科目】						
<基礎セルフディベロップメント>						
SD 101	基礎セルフディベロップメント	1年	6			進級基準科目
<発展セルフディベロップメント>						
SD 201	芸術のすすめ	2年		2		4 単位選択必修
SD 202	数学的ものの考え方	2年		2		
SD 203	社会現象を分析する	2年		2		
SD 204	環境学への展望	2年		2		
SD 205	人間の心理を探る	2年		2		
SD 206	生命科学と人間	2年		2		
SD 207	市民の社会貢献	2年		2		
SD 208	市民生活と権利を考える	2年		2		
SD 209	現代メディアの探求	2年		2		
SD 210	社会情報と生活	2年		2		
SD 211	日本の歴史	2年		2		
SD 212	外国の歴史	2年		2		
SD 213	哲学への探索	2年		2		
SD 214	文化人類学への誘い	2年		2		
SD 215	文学を読み解く楽しみ	2年		2		
SD 221	ホスピタリティマインド概論	2年		2		選択必修の対象外
SD 222	ホスピタリティマインド各論	2年		2		
SD 231	プレゼンテーション	2年		2		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】						
FW 101	フィールド・スタディーズ	1年	1			
FW 111	フィールド・スタディーズ1	1年		1		
FW 112	フィールド・スタディーズ2	1年		2		
FW 113	フィールド・スタディーズ3	1年		3		
FW 114	フィールド・スタディーズ4	1年		4		
FW 121	海外フィールド・スタディーズ1	1年		2		
FW 122	海外フィールド・スタディーズ2	1年		3		
FW 123	海外フィールド・スタディーズ3	1年		4		
FW 124	海外フィールド・スタディーズ4	1年		5		
FW 125	海外フィールド・スタディーズ5	1年		6		
【インターンシップ科目】						
INT 201	インターンシップ (事前研究)	2年		1	◆シラバスやガイダンスで確認すること	
INT 211	インターンシップ1	2年		1		
INT 212	インターンシップ2	2年		2		
INT 213	インターンシップ3	2年		4		
INT 214	インターンシップ4	2年		6		
INT 221	海外インターンシップ1	2年		4		
INT 222	海外インターンシップ2	2年		6		
INT 223	海外インターンシップ3	2年		8		
【副専攻 (サブ・メジャー) 科目群】						
SUBM 201	サブ・メジャー (ゼミナール) 1	2年		2		
SUBM 202	サブ・メジャー (ゼミナール) 2	2年		4		
SUBM 311	サブ・メジャー (総合研究) 1	3年		2	◆「サブ・メジャー (ゼミナール) 1」または「サブ・メジャー (ゼミナール) 2」を履修していること	
SUBM 312	サブ・メジャー (総合研究) 2	3年		4		
【寄付講座科目】						
EC 101	寄付講座1	1・2・3・4年		2		寄付講座：武蔵野市
EC 201	資金計画論	2年		2		休講
EC 202	証券ビジネス論	2年		2		寄付講座：野村證券
EC 203	経済教育論	2年		2		休講
EC 204	金融リテラシー(金融と人生設計)	2年		2		寄付講座：金融広報中央委員会
EC 205	未来型都市とメディア	2年		2		寄付講座：ピーエスフジ

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

人間科学部 人間科学科 -2018年度入学生-

開講表 [学科科目]

2019年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考	
			必修	選択			
【学科基礎科目群】							
HUM 100	人間学入門	1年	2				
HSC 100	人間科学基礎	1年	2				
HUM 200	人間論基礎	2年	2			* ★ B	
HSC 211	基礎ゼミ 1	2年	1				
HSC 212	基礎ゼミ 2	2年	1		◇「基礎ゼミ 1」を履修していること		
PSY 100	心理学概論 I	1年	2				
PSY 101	心理学概論 II	1年	2				
PSY 210	心理学研究法	2年		2			
PSY 211	心理学統計法	2年		2			
LHS 130	メンタルヘルス論 I	1年	2				
LHS 230	メンタルヘルス論 II	2年		2		* ☆ A	
HSC 140	対人コミュニケーション論	1年	2				
【人間学基幹科目群】							
HUM 203	東洋思想論 1	2年		2		8単位以上選択必修 休講	
HUM 300	東洋思想論 2	2年		2			
HUM 204	西洋思想論 1	3年		2			
HUM 301	西洋思想論 2	3年		2			
HUM 202	平和学	2年		2			
HUM 201	宗教学概論	3年		2			
HUM 205	仏教心理論	2年		2			
HUM 303	仏教ホスピスバーラ論	3年		2			
HUM 302	死生学	3年		2			
HUM 303	環境倫理学	3年		2			
HUM 304	生命倫理学	3年		2			
【臨床心理科目群】							
PSY 212	心理学実験 1	2年		2			
PSY 310	心理学実験 2	2年		2	◇「心理学実験 1」を履修していること		
PSY 220	知覚・認知心理学	2年	2			* ★ C	
PSY 221	感情・人格心理学	2年		2			
PSY 223	学習・言語心理学	2年		2			
PSY 230	臨床心理学概論	2年	2				
PSY 240	発達心理学 1	2年	2				
PSY 241	発達心理学 2	2年		2	◇「発達心理学 1」を履修していること		
PSY 242	人格心理学	2年		2			
PSY 250	司法・犯罪心理学 1	2年		2			
PSY 251	司法・犯罪心理学 2	2年		2			
PSY 243	教育・学校心理学	2年		2			
PSY 244	家族心理学	2年		2			
PSY 333	心理的アセスメント	3年		2			
PSY 334	心理療法論 (心理学的支援法)	3年		2			
PSY 335	臨床心理学特殊演習	3年		2			
PSY 336	精神分析学	3年		2			
PSY 337	英語文献研究	3年		2			
PSY 331	カウンセリング演習	3年		1			
PSY 332	心理演習	3年		1			
PSY 231	公認心理師の職責	2年		2			
PSY 338	心理実習 1	3年		1	◆「心理実習 1・2」履修に関する内規」の条件を充足すること		
PSY 339	心理実習 2	4年		1	◆「心理実習 1・2」履修に関する内規」の条件を充足すること		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【産業・社会科目群】						
SOC 100	社会学	1年	2			
SOC 200	地域社会学	2年		2		
SOC 201	家族社会学	2年		2		
SOC 310	社会調査法	3年		2		
SOC 311	社会調査実習	3年		2	◇「社会調査法」を履修していること	
PSY 260	社会・集団・家族心理学	2年	2			
PSY 261	社会心理学	2年		2		
PSY 262	対人行動論 1	2年	2			* ★ B
PSY 263	対人行動論 2	2年		2	◇「対人行動論 1」を履修していること	
PSY 270	産業・組織心理学	2年		2		
PSY 264	集団心理学	2年		2		
PSY 370	産業カウンセリング論	2年		2		
PSY 360	コミュニティ心理学	2年		2		
PSY 371	オフィス環境心理学	2年		2		休講
PSY 361	文化心理学	3年		2		休講
SOC 320	マスコミュニケーション論	3年		2		
SOC 332	社会保障	3年		4		
SOC 330	公的扶助	3年		2		
SOC 231	地域福祉	2年		2		
SOC 331	コミュニティワーク	3年		2	◇「地域福祉」を履修していること	
SOC 334	権利擁護と成年後見制度	3年		2		
SOC 230	現代社会と福祉	2年		4		* ☆ B
SOC 333	福祉行財政と福祉計画	3年		2		
SOC 232	関係行政論	2年		2		休講
【生命・健康科学科目群】						
LHS 100	生命科学 1	1年	2			
LHS 200	生命科学 2	2年		2	◇「生命科学 1」を履修していること	
LHS 300	生命科学実験演習 1	3年		1		
LHS 301	生命科学実験演習 2	3年		1	◇「生命科学実験演習 1」を履修していること	
LHS 210	生理人類学 1	2年	2			
LHS 211	生理人類学 2	2年		2	◇「生理人類学 1」を履修していること	
LHS 311	生理実験演習 1	3年		1	◆「生理実験演習 2」をセットで履修すること	
LHS 312	生理実験演習 2	3年		1	◆「生理実験演習 1」をセットで履修すること	
LHS 212	脳と心 1	2年		2		
LHS 310	脳と心 2	2年		2	◇「脳と心 1」を履修していること	
LHS 320	統計推計学	3年		2		
LHS 231	健康・医療心理学	2年	2			* ★ A
LHS 232	健康科学	2年		2		
LHS 233	精神医学（精神疾患とその治療）	2年		4		
LHS 331	医学知識（人体の構造と機能及び疾病）	3年		2		
LHS 330	心身医学	3年		2		
PSY 245	障害者・障害児心理学	2年		2		休講
LHS 234	福祉心理学	2年		2		
PSY 222	神経・生理心理学	2年		2		
SPO 201	スポーツ心理学	2年		2		
SPO 200	生体適応論	2年		2		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【精神保健福祉科目群】						
PSW 311	精神科リハビリテーション学	3年		4		
PSW 200	精神保健福祉論Ⅰ	2年		2		
PSW 201	精神保健福祉論Ⅱ	2年		2	◇「精神保健福祉論Ⅰ」を履修していること	
PSW 300	精神保健福祉論Ⅲ	3年		2	◇「精神保健福祉論Ⅱ」を履修していること	
PSW 210	ソーシャルワーク論	2年		2		
PSW 211	精神科ソーシャルワーク論	2年		2	◇「ソーシャルワーク論」を履修していること	* ☆ C
PSW 310	精神保健福祉援助技術各論	3年		4		
PSW 312	精神保健福祉援助演習Ⅰ	3年		1		* ☆ D
PSW 313	精神保健福祉援助演習Ⅱ	3年		1	◇「精神保健福祉援助演習Ⅰ」を履修し、かつ同一学年内に履修すること	* ☆ D
PSW 410	精神保健福祉援助演習Ⅲ	4年		1	◇「精神保健福祉援助演習Ⅱ」を履修し、かつ「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」と「精神保健福祉援助実習」をセットで履修すること	
PSW 314	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3年		1		
PSW 411	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4年		2	◇「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」を履修し、かつ「精神保健福祉援助演習Ⅲ」と「精神保健福祉援助実習」をセットで履修すること	
PSW 412	精神保健福祉援助実習	4年		4	◇「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」と「精神保健福祉援助演習Ⅲ」をセットで履修すること また、◆「精神保健福祉援助実習」履修に関する内規」の条件を充足すること	* ☆ E
PSW 400	保健医療サービス	4年		2		
PSW 401	障害者福祉サービス	4年		2		
【人間論演習】						
HSC 310	人間論演習	3年	2			* ★ D
【総合科目】						
HSC 220	人間科学プロジェクト1	2年		2		休講
HSC 320	人間科学プロジェクト2	3年		2	◇「人間科学プロジェクト1」を履修していること	休講
HSC 331	総合研究1	2年		2		
HSC 332	総合研究2	2年		2		
HSC 350	International Lectures (Human Sciences)1	2年		1		
HSC 351	International Lectures (Human Sciences)2	2年		1		
【卒業研究】						
HSC 413	卒業論文	4年	2			* ★ E
HSC 411	卒業論文演習1	4年	1			* ★ E
HSC 412	卒業論文演習2	4年	1			* ★ E

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

* ★ A～E・☆ A～E 精神保健福祉士を目指す学生は以下のとおり、みなし履修（修得）が可能。ただし、3年次で「精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ」を修得した学生に限る。

学科必修科目は事前配置されるため、みなし履修（修得）を希望する学生は必修科目削除の手続きが必要。詳細はMUSCAT参照。

	★学科必修科目	単位数		☆精神保健福祉士指定科目	単位数
A	健康・医療心理学	2	⇒	メンタルヘルス論Ⅱ	2
B	人間論基礎	2	⇒	現代社会と福祉	4
	対人行動論1	2			
C	知覚・認知心理学	2	⇒	精神科ソーシャルワーク論	2
D	人間論演習	2	⇒	精神保健福祉援助演習Ⅰ	1
				精神保健福祉援助演習Ⅱ	1
E	卒業論文	2	⇒	精神保健福祉援助実習	4
	卒業論文演習1	1			
	卒業論文演習2	1			

人間科学科 履修モデル 2018年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

公認心理師

公認心理師資格取得を目指す
(大学院進学や実務経験を積むことによる、公認心理師国家試験の受験を目指す進路)

本モデルは、国家資格である公認心理師の資格取得要件を満たすためのものである。学部で必要とされる公認心理師の受験資格に必要な科目を履修するほか、関連する領域の科目を履修する。なお、心理実習1・2については履修条件が設定されるため、これらの要件を満たすよう履修を進める必要がある。

数字は単位数

科目区分											
武蔵野BASIS (26)	必修 (14)	建学科目	仏教概説	4							
		健康体育科目	人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1							
		情報科目	コンピュータ基礎1	1							
		日本語リテラシー	日本語リテラシー	1							
		セルフディベロップメント科目	基礎セルフディベロップメント	6							
		フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1							
選択必修 (12)	発展セルフディベロップメント 外国語	発展セルフディベロップメント	発展セルフディベロップメント	4							
		外国語	外国語1A～1D	4	外国語2A～2D	4					
学科科目 (86)	必修 (40)	人間学入門	人間学入門	2	人間論基礎	2	人間論演習	2	卒業論文	2	
		人間科学基礎	人間科学基礎	2	基礎ゼミ1	1			卒業論文演習1	1	
		心理学概論Ⅰ	心理学概論Ⅰ	2	基礎ゼミ2	1			卒業論文演習2	1	
		心理学概論Ⅱ	心理学概論Ⅱ	2	知覚・認知心理学	2					
		メンタルヘルス論Ⅰ	メンタルヘルス論Ⅰ	2	臨床心理学概論	2					
		対人コミュニケーション論	対人コミュニケーション論	2	発達心理学1	2					
		社会学	社会学	2	社会・集団・家族心理学	2					
		生命科学1	生命科学1	2	対人行動論1	2					
					生理人類学1	2					
					健康・医療心理学	2					
	選択必修 (8)	基幹科目群(8)		東洋思想論1	2	西洋思想論1	2	仏教ホスピタリティー論	2		
						生命倫理学	2				
						心理学研究法	2	心理学統計法	2	司法・犯罪心理学2	2
						心理学実験1	2	感情・人格心理学	2	英語文献研究	2
						心理学実験2	2	学習・言語心理学	2	カウンセリング演習	1
						公認心理師の職責	2	教育・学校心理学	2	心理実習2	1
						精神医学(精神疾患とその治療)	4	心理的アセスメント	2	心身医学	2
								心理療法論(心理学的支援法)	2		
選択 (38)					臨床心理学特殊演習	2					
					精神分析学	2					
					心理演習	1					
					心理実習1	1					
					発達心理学2	2					
					産業・組織心理学	2					
					関係行政論	2					
					医学知識(人体の構造と機能及び疾病)	2					
					障害者・障害児心理学	2					
					福祉心理学	2					
自由選択科目 (12)		健康体育1	健康体育1	1							
		コンピュータ基礎2	コンピュータ基礎2	1							
備考				心理学実験1と2は、2年次に合わせて履修することが望ましい。		公認心理師・臨床心理士や公務員をはじめとする心理学の専門職を志望する者は、臨床心理学特殊演習を履修することを推奨する。		モデルで示された講義に限らず、各自の関心のある講義を主体的に履修することを推奨する。			
履修モデル計		36		40		40		14			
CAP(履修上限単位数)※		40		40		40		40			
卒業所要単位数						合計124単位数以上					

※履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

人間科学科 履修モデル 2018年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

臨床心理科目群

【進路イメージ】

法務教官、家裁調査官、各種相談員、児童自立支援専門員、児童心理司、認定心理士、スクールカウンセラー（大学院進学）、臨床心理士（大学院進学）、臨床発達心理士（大学院進学）、言語聴覚士（大学院・専攻科進学）、福祉・医療産業、事務職、販売職 など

【モデル概要】

臨床心理士を目標とした大学院進学や公務員などの専門職、心理学を活かした社会での活躍に向けて、臨床心理学や発達心理学などの必修科目に加え、心理療法論やカウンセリング演習 1・2 などの実践的な科目から、心理学の基礎と応用を学びます。これらの科目は、認知心理士の取得に合わせた構成がなされています。より専門的な知識を得たい場合は、社会調査法や社会調査実習の履修も推奨します。

科目区分											
武蔵野BASIS (26)	必修 (14)	建学科目	仏教概説	4							
		健康体育科目	人生の歩き方を考える（キャリアデザイ	1							
		情報科目	コンピュータ基礎1	1							
		日本語リテラシー	日本語リテラシー	1							
		セルフディベロップメント科目	基礎セルフディベロップメント	6							
選択必修 (12)	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1								
	セルフディベロップメント科目				発展セルフディベロップメント	4					
学科科目 (86)	必修 (40)	外国語	外国語1A～1D	4	外国語2A～2D	4					
			人間学入門	2	人間論基礎	2	人間論演習	2	卒業論文	2	
			人間科学基礎	2	基礎ゼミ1	1			卒業論文演習1	1	
			心理学概論Ⅰ	2	基礎ゼミ2	1			卒業論文演習2	1	
			心理学概論Ⅱ	2	知覚・認知心理学	2					
			メンタルヘルス論Ⅰ	2	臨床心理学概論	2					
			対人コミュニケーション論	2	発達心理学1	2					
			社会学	2	社会・集団・家族心理学	2					
	生命科学1		2	対人行動論1	2						
	選択必修 (8)	基幹科目群(8)				東洋思想論1	2	西洋思想論1	2		
								生命倫理学	2		
								仏教心理論	2		
						心理学研究法	2	心理学統計法	2	教育・学校心理学	2
						心理学実験1	2	感情・人格心理学	2	神経・生理心理学	2
						心理学実験2	2	学習・言語心理学	2	International Lectures(Human Sciences) 1	1
					司法・犯罪心理学1	2	発達心理学2	2	International Lectures(Human Sciences) 2	1	
選 択 (38)			家族心理学	2	人格心理学	2					
			脳と心1	2	司法・犯罪心理学2	2					
					心理的アセスメント	2					
					心理療法論（心理学的支援法）	2					
					臨床心理学特殊演習	2					
					精神分析学	2					
					英語文献研究	2					
					カウンセリング演習	1					
					心理演習	1					
					統計推計学	2					
自由選択科目 (12)		健康体育1	1								
		コンピュータ基礎2	1								
備考				心理学実験1と2は、2年次に合わせて履修することが望ましい。		臨床心理士や公務員をはじめとする心理学の専門職を志望する者は、臨床心理学特殊演習を履修することを推奨する。		モデルで示された講義に限らず、各自の関心のある講義を主体的に履修することを推奨します。			
履修モデル 計		36		40		40		10			
CAP（履修上限単位数）※		40		40		40		40			
卒業所要単位数						合計124単位以上					

※ 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

人間科学科 履修モデル 2018年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

人間学基幹科目群

公務員、地域社会リーダー、図書館などの社会教育、マスコミ、企業の人事・管理・営業部門、事務職、販売職、ホテル産業、旅行産業、航空産業 など

東洋思想や西洋思想、倫理学を幅広く学ぶことで、自己認識力・他者理解力の獲得や、哲学的な問題提起や論証に関する知識や能力を習得することができます。哲学・倫理学の知識や仏教精神にもとづく人間尊重の倫理・道徳観を身につけることで、社会で活躍する人間力を身につけます。

科目区分												
武蔵野BASIS (26)	必修 (14)	建学科目	仏教概説	4								
		健康体育科目	人生の歩き方を考える(キャリアデザイ	1								
		情報科目	コンピュータ基礎1	1								
		日本語リテラシー	日本語リテラシー	1								
		セルフディベロップメント科目	基礎セルフディベロップメント	6								
		フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1								
選択必修 (12)		セルフディベロップメント科目			発展セルフディベロップメント	4						
		外国語	外国語1A~1D	4	外国語2A~2D	4						
学科科目 (86)	必修 (40)	基幹科目群(8)	人間学入門	2	人間論基礎	2	人間論演習	2	卒業論文	2		
			人間科学基礎	2	基礎ゼミ1	1			卒業論文演習1	1		
			心理学概論Ⅰ	2	基礎ゼミ2	1			卒業論文演習2	1		
			心理学概論Ⅱ	2	知覚・認知心理学	2						
			メンタルヘルス論Ⅰ	2	臨床心理学概論	2						
			対人コミュニケーション論	2	発達心理学1	2						
			社会学	2	社会・集団・家族心理学	2						
			生命科学1	2	対人行動論1	2						
					生理人類学1	2						
					健康・医療心理学	2						
	選択必修 (8)	基幹科目群(8)				平和学	2	東洋思想論1	2	西洋思想論2	2	
								東洋思想論2	2	死生学	2	
									西洋思想論1	2	生命倫理学	2
									宗教学概論	2		
									仏教ホスピスピハラ論	2		
									環境倫理学	2		
	選 択 (38)	基幹科目群(8)				心理学研究法	2	メンタルヘルス論Ⅱ	2			
						心理学統計法	2	心理療法論(心理学的支援法)	2			
						人格心理学	2	英語文献研究	2			
						地域社会学	2	社会調査法	2			
						産業・組織心理学	2	社会心理学	2			
						地域福祉	2	コミュニティ心理学	2			
								マスコミュニケーション論	2			
								コミュニティワーク	2			
								現代社会と福祉	4			
								脳と心1	2			
自由選択科目 (12)		健康体育1	1									
		コンピュータ基礎2	1									
備考								モデルで示された講義に限らず、各自の関心のある講義を主体的に履修することを推奨します。				
履修モデル 計		36		40		40		10				
CAP(履修上限単位数)※		40		40		40		40				
卒業所要単位数						合計124単位以上						

※履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

人間科学科 履修モデル 2018年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

生命・健康科学科目群

研究・開発（大学院進学）、言語聴覚士（大学院進学）、企業の企画・調査・開発部門、バイオ・食品・健康関連産業、医薬情報担当者、事務職、販売職 など

人間の心と体について、広く生命科学の観点からの理解を目指します。生命科学の知識を得るだけでなく、科学リテラシーや論理的思考力をはじめとした、社会で主体的に活躍するために必要な実践力を身につけます。大学院で研究をおこない、学びをさらに深めることも可能です。

科目区分												
武蔵野BASIS (26)	必修 (14)	建学科目	仏教概説	4								
		健康体育科目	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン	1								
		情報科目	コンピュータ基礎1	1								
		日本語リテラシー	日本語リテラシー	1								
		セルフディベロップメント科目	基礎セルフディベロップメント	6								
選択必修 (12)	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1									
	セルフディベロップメント科目			発展セルフディベロップメント	4							
学科科目 (86)	必修 (40)	外国語	外国語1A～1D	4	外国語2A～2D	4						
			人間学入門	2	人間論基礎	2	人間論演習	2	卒業論文	2		
			人間科学基礎	2	基礎ゼミ1	1			卒業論文演習1	1		
			心理学概論Ⅰ	2	基礎ゼミ2	1			卒業論文演習2	1		
			心理学概論Ⅱ	2	知覚・認知心理学	2						
			メンタルヘルス論Ⅰ	2	臨床心理学概論	2						
			対人コミュニケーション論	2	発達心理学1	2						
			社会学	2	社会・集団・家族心理学	2						
			生命科学1	2	対人行動論1	2						
					生理人類学1	2						
				健康・医療心理学	2							
	選択必修 (8)	基幹科目群(8)				東洋思想論1	2	死生学	2	西洋思想論1	2	
								環境倫理学	2			
									生命倫理学	2		
			選択 (38)					心理学実験1	2	学習・言語心理学	2	心身医学
							心理学実験2	2	社会心理学	2	福祉心理学	2
							感情・人格心理学	2	産業・組織心理学	2		
							オフィス環境心理学	2	マスコミュニケーション論	2		
							脳と心1	2	生命科学2	2		
					スポーツ心理学	2	生命科学実験演習1	1				
							生命科学実験演習2	1				
							生理人類学2	2				
自由選択科目 (12)		健康体育1	1				生理実験演習1	1				
		コンピュータ基礎2	1				生理実験演習2	1				
							脳と心2	2				
							統計推計学	2				
							健康科学	2				
							精神医学（精神疾患とその治療）	4				
							心身医学	2				
							生体適応論	2				
							人間科学プロジェクト1	2				
備考				心理学実験1と2は、2年次に合わせて履修することが望ましい。				モデルで示された講義に限らず、各自の関心のある講義を主体的に履修することを推奨します。				
履修モデル計		36		40		40		10				
CAP（履修上限単位数）※		40		40		40		40				
卒業所要単位数						合計124単位以上						

※ 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

人間科学科 履修モデル 2018年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

精神保健福祉科目群

職種：精神保健福祉士

精神医療・障害福祉サービス事業・精神保健福祉行政における相談援助、
スクールソーシャルワーカー、社会復帰調査官（保護観察所）、企業における精神保健福祉

精神保健福祉士（国家資格）の指定科目を履修し、精神保健福祉分野で活躍できる専門職を養成します。2、3年生の講義・演習での学習を踏まえ、4年生では精神医療及び障害福祉の現場で実習します。さらに国家試験受験対策講座を受講し、精神保健福祉士の取得を目指します。

科目区分											
武蔵野BASIS (26)	必修 (14)	建学科目	仏教概説	4							
		健康体育科目	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン	1							
		情報科目	コンピュータ基礎1	1							
		日本語リテラシー	日本語リテラシー	1							
セルフディベロップメント科目		基礎セルフディベロップメント	6								
選択必修 (12)	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1								
	セルフディベロップメント科目	外国語	4	発展セルフディベロップメント	4						
学科科目 (86)	必修 (40)	外国語1A～1D	外国語	4	外国語2A～2D	4					
		人間学入門	人間学入門	2	人間論基礎	2	人間論演習	2			
		人間科学基礎	人間科学基礎	2	基礎ゼミ1	1	卒業論文	2			
		心理学概論Ⅰ	心理学概論Ⅰ	2	基礎ゼミ2	1	卒業論文演習1	1			
		心理学概論Ⅱ	心理学概論Ⅱ	2	知覚・認知心理学	2	卒業論文演習2	1			
		メンタルヘルス論Ⅰ	メンタルヘルス論Ⅰ	2	臨床心理学概論	2					
		対人コミュニケーション論	対人コミュニケーション論	2	発達心理学1	2					
		社会学	社会学	2	社会・集団・家族心理学	2					
		生命科学1	生命科学1	2	対人行動論1	2					
					生理人類学1	2					
	選択必修 (8)	基幹科目群(8)				東洋思想論1	2	西洋思想論1	2		
								死生学	2		
								生命倫理学	2		
	選択 (38)					メンタルヘルス論Ⅱ	2	心理療法学（心理学的支援法）	2	教育・学校心理学	2
						家族心理学	2	社会調査法	2	産業・組織心理学	2
					産業カウンセリング論	2	社会保障	4	精神保健福祉援助演習Ⅲ	1	
					地域福祉	2	公的扶助	2	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2	
					現代社会と福祉	4	コミュニティワーク	2	精神保健福祉援助実習	4	
					精神医学（精神疾患とその治療）	4	権利擁護と成年後見制度	2	保健医療サービス	2	
					精神保健福祉論Ⅰ	2	福祉行財政と福祉計画	2	障害者福祉サービス	2	
					精神保健福祉論Ⅱ	2	医学知識（人体の構造と機能及び疾病）	2			
					ソーシャルワーク論	2	精神科リハビリテーション学	4			
					精神科ソーシャルワーク論	2	精神保健福祉論Ⅲ	2			
							精神保健福祉援助技術各論	4			
							精神保健福祉援助演習Ⅰ	1			
					精神保健福祉援助演習Ⅱ	1					
					精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1					
自由選択科目 (12)		健康体育1	健康体育1	1							
		コンピュータ基礎2	コンピュータ基礎2	1							
備考				必修科目の「臨床心理学概論」、「発達心理学1」、「社会・集団・家族心理学」、「対人行動論1」、「生理人類学1」、「健康・医療心理学」は「メンタルヘルス論Ⅱ」、「ソーシャルワーク論」、「現代社会と福祉」、「精神医学」にて、みなし履修(修得)とする。		必修科目の「人間論演習」は「精神保健福祉援助演習Ⅰ」と「精神保健福祉援助演習Ⅱ」にて、みなし履修(修得)とする。		必修科目の「卒業論文」、「卒業論文演習1」、「卒業論文演習2」は「精神保健福祉援助実習」にて、みなし履修(修得)とする。 モデルで示された講義に限らず、各自の関心のある講義を主体的に履修することを推奨します。			
履修モデル計		36		40		37		15			
CAP（履修上限単位数）※		40		40		40		40			
卒業所要単位数						合計124単位以上					

※履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

成果に基づく認定科目（各学科共通）

成果に基づく認定科目とは、次のいずれかに該当する場合に単位認定される科目をいいます。

- (1) 留学プログラムの学修成果について、科目読替の対象となる単位以外の単位認定
- (2) 本学で認めた単位認定対象講座の受講により、資格試験の合格によって認められる単位認定
- (3) 本学で認めたボランティア活動による単位認定
- (4) その他本学が認めた単位認定

1. 留学の認定科目（科目読替の対象となる単位以外のもの）

留学区分	科目名	単位	科目区分	備考
協定留学	協定留学1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて本学の認定可能な科目、及び左記科目を組み合わせて通年で40単位（半期のみ20単位）まで認定可能
	協定留学2	2		
	協定留学3	4		
	協定留学4	6		
	協定留学5	8		
	協定留学6	10		
	協定留学7	10		
認定（SAP）留学	認定留学1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて本学の認定可能な科目、及び左記科目を組み合わせて通年で40単位（半期のみ20単位）まで認定可能
	認定留学2	2		
	認定留学3	4		
	認定留学4	6		
	認定留学5	8		
	認定留学6	10		
	認定留学7	10		
第2学期留学プログラム	短期留学プログラム1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて、10単位まで認定可能
	短期留学プログラム2	2		
	短期留学プログラム3	3		
	短期留学プログラム4	4		
	短期留学プログラム5	5		
	短期留学プログラム6	6		
	短期留学プログラム7	7		
	短期留学プログラム8	8		
	短期留学プログラム9	9		
	短期留学プログラム10	10		
短期語学研修	海外語学研修1	2	自由選択科目 ※	留学先の学修時間に応じて各語学研修について、2単位から4単位まで認定可能
	海外語学研修2	3		
	海外語学研修3	4		
	海外語学研修4	4		

2. 資格試験の合格による認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
資格認定	資格認定Ⅰ	2	自由選択科目 ※	対象講座の受講が必要 (詳細はMUSCATでお知らせします)
	資格認定Ⅱ	2		
	資格認定Ⅲ	2		
	資格認定Ⅳ	1		
	資格認定Ⅴ	1		
	資格認定Ⅵ	1		
	資格認定Ⅶ	1		

3. ボランティア活動による認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
ボランティア活動	ボランティア活動1	1	自由選択科目 ※	ボランティア活動時間に応じて、1単位から4単位まで認定可能
	ボランティア活動2	1		
	ボランティア活動3	2		
	ボランティア活動4	2		
	ボランティア活動5	4		

※ 自由選択科目の区分がある学科・課程年度が対象です（自由選択科目の区分を設けていない学科・課程年度においては、卒業要件外科目となります）。

【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】

学科・課程年度によって武蔵野BASIS、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、構成が異なります。各自、自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。

●卒業所要単位表

〇〇学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位数

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS	必修	単位区分に応じた科目名又は科目群	
	選択必修		
学科科目	必修		
	選択必修		
	選択		
自由選択科目※			以下の科目から〇〇単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS（所要△△単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要××単位を超えて修得した単位） ・ ・ ・

武蔵野BASISのうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

※自由選択科目の区分の有無と対象となる科目の構成は学科・課程年度によって異なります。

●開講表

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

<公開年度>

年度によって科目の休講・廃止等があるため、最新年度の開講表を確認してください。

〇〇学部 XX学科 △△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表 [学科科目]

20XX年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【基礎科目群】						
ABCD 101	××基礎 1	1年		2	◆全員履修	
ABCD 102	ゼミナル	1年	1		◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年		2		
ABCD 104	□□論 1	1年		1		
ABCD 201	□□論 2	2年		1		休講
ABCD 106	◎◎学	1年		1	◇××基礎 1を履修していること	
AABB 106	◇◇法	1年		2		
AABB 101	○△□論	1年		2		4科目の中から2科目 選択必修
AABB 102	□□論 1	1年		2		
GHIJ 104	△△学理論	1年		2		
【基幹科目群】						
PJK 101	○○学理論	1年		2		
PJK 102	△○学理論	1年		2		
CDR 101	◇◇学理論	1年		2		
CDR 206	□□論 2	2年		2	◆□□論 1を履修していること	

科目の分類を表します。

<開講年次>

履修が可能となる学年。
(上位学年の科目は履修できません。)

<科目番号 (ナンバリング)>

カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられています。ナンバリングを参考にすることで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。レベルの詳細は、学修の手引きの「単位と科目」ページにある「ナンバリング (科目番号)」を確認してください。

<単位数>

必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

<履修条件>

科目によっては、学習効果を高めるために、学修の段階に応じた履修条件が設定されています。設定されている場合は、開講表の履修条件欄、又はシラバスに記載されています。

<備考>

選択必修や休講科目の情報など、科目の補足情報が記載されています。